事業所名　風の子デイサービス

支援プログラム（児童発達支援）

作成日　2025 年　3 月　21 日

事業所理念	・①本人主体、②家族支援、③ライフサイクル支援の3点を基本に、子どもの主体性を尊重した支援を大切にします。 ・事業所と家庭が協力する関係を築き、子どもにとって、安心できる環境や関わりのあり方を保護者と共に考えます。			
支援方針	・大人との基本的信頼関係を基盤に、子どもが人とのやりとりを通して自分の気持ちや意思を伝え、自尊感情や自信をもって、生活できることを大切にします。 ・子どもの全体像を把握し、対人関係、コミュニケーション、言語、認知、表現、運動、などの領域がバランスよく調和し、成長できるように支援します。			
営業時間	9 時　0 分から　17 時　45 分まで		送迎実施の有無	あり　（なし）
	支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	・基本的生活習慣について、自立の程度、介助の必要性と受け入れ方、意欲の有無などを保護者から聞き取り、健康や生活などの本人の様子を家族と共有する。 ・必要に応じて、医療機関と連携する。		
	運動・感覚	・同法人の園庭や近隣の公園で鬼ごっこやかくれんぼ、滑り台、散歩など、楽しみながら身体を動かす。 ・粘土遊びや紙やぶり、製作等でノリやハサミを使うなど、手先の感覚を養う。 ・水遊び、砂遊びなど自然の素材を使って遊ぶ。		
	認知・行動	・「大人と一緒にすること」を通して共にすることの楽しさを十分に経験し、身近な人を通して、物のあつかい方や物事を学べるように援助する。 ・数字、文字、音楽、創作、クッキング		
	言語 コミュニケーション	・子どもの感情、要求、興味に注意、関心を払い、微妙な表情に丁寧に応答する。 ・自分の思いや経験を上手に表現できるように、本人の話や訴えに耳を傾ける。 ・子どもの意思やつもりを尊重し、自信をもって「イヤ」の意思表示ができるように、自己主張する力を育てる。		
	人間関係 社会性	○身近な大人が心の支えとなる、人間関係を築く。 ・いけないと言われることを敢えてする場合には、子どもの立場に立ってその行動の意味を理解するように努める。 ・表面的な行動を叱るばかりにならないよう留意する。こちらの態度や、対応を見直し、気づかないことや思い違いがあることが分かれば、率直に謝る。 ・困った時の不快、不安、不満を大人に伝える。特定の大人を頼る、手助けを求める。 ○友だちとやりとりする経験を積む。大人が本人の思いを相手に伝え、本人に周りの状況を伝えるなど、子ども同士の橋渡しをする。		
家族支援	・グループ相談や個別相談で本人や家族、きょうだいの相談にのる。 ・個別相談では保護者の不安や心配に耳を傾ける。保護者が子どもの理解を深め、余裕をもった子育てができるように支える。 ・グループ相談では個々の経験を出し合う。他の人の有効な経験を活用する、経験を蓄積するなど、保護者のつながりを作る。 ・家族が子どもの成長を支える理解と支援の視点を共有する。 ・冊子『視点』を使っての勉強会を行う。		移行支援	・保護者の就学の悩みを聞く。 ・保護者の了解の基、学校の教育相談等で話し合いや情報提供をする。
地域支援・地域連携	関係機関と支援会議等をもち、情報や支援課題の共有に努め、連携する。 （保育園、幼稚園、区役所、相談支援事業所、他事業所、医療、学校）		職員の質の向上	・社会福祉、対人援助、発達など、支援の実践に役立つように積極的に学び、専門性を養うことを目指す。 ・自然に親しみ、感性を磨き、人格を陶冶する。 ・職員相互の信頼関係のもと、互いに研鑽し合い、支援の向上を図る。
主な行事等	・丹波遠足(春・夏)　・比良キャンプ(湖水浴)　・秋祭り　・季節の行事			